



常澄中学校だより

「常に澄む」

令和6年2月7日

No.13

「常に正しかれ」「常に豊かなれ」「常に気高かれ」

コミュニケーション能力を高めましょう!!

惻
至
怛
誠

左の言葉は、長岡藩（今の新潟県長岡市）の河井継之助（かわいつぐのすけ）が、幕末期の儒家・陽明学者のひとりである山田方谷（やまだほうこく）に師事した際、方谷から贈られた王陽明（1472-1529年）の一節だそうです。

読み方は、「至誠惻怛（しせいそくだつ）」です。「至誠」は極めて誠実なことで真心（まごころ）を意味し、「惻怛」というのは痛み悲しむ心、人を思いやる心を意味します。すなわち、まごころ（至誠）と人を思い遣る心（惻怛）があれば、やさしく（仁）なれる。そして目上の人（大人や先輩）には誠（まこと）を尽くし、目下の人（下級生など年少者）には慈しみ（いつくしみ）をもって接するようにします。心のもち方をこうすれば、物事をうまく運ぶことができるという教えです。つまり、この気持ちで生きることが、人としての基本であり、正しい道だということです。

現代の子どもたちが抱えている問題が、「コミュニケーション能力」の低下だそうです。コミュニケーション能力とは、ただ、人とあいさつや会話を交わすことだけではなく、人を思いやる力、人を慈（いつく）しむ力だそうです。人は一人では生きていけません。多くの人に支えられて生きていけるのです。そして、皆さん一人一人も誰かを支えているのです。そうやって成り立っているのが社会です。その練習をしている場が学校・地域・家庭なのです。生徒の皆さんは、自分の生活をぜひ振り返ってみてください。人を思いやる行動・言動がとれていますか。人を慈しむ（＝かわいがり、大切にする）行動・言動がとれていますか。これができるのが『大人』になることです。生徒の皆さんが誰からも信頼される、素晴らしい『大人』に成長できるよう、しっかりと、学校という集団生活の場・家庭・地域で学んでほしいと思います。誰もが笑顔でいられるために。

ルールを守ることは自分を守ること

この標識の意味、知っていますか。「この歩道は自転車も通行を許可します」という意味です。このように、本来通行できない歩道を通行可にするのは、自転車に乗る人の命を守るためです。つまり、『法やきまり』は国民の命や権利を守るためのものです。よって、国民として、誰も見ていなくても、きまりをしっかりと守れる『規範意識』をもっていたいですね。

